

8 富山湾とそこにすむ魚介類の本の紹介

(1990年以降、釣り関係を除く)

「原色日本海魚類図鑑」 津田武美著 1990年 桂書房 (絶版)

富山県で獲れる種類を中心とした魚類図鑑。原色のスケッチ、細かい形態学的情報に、平易な解説が施されている。豪華な箱入りの美本。

「近代漁業の変遷」 近岡七四郎著 1990年 新湊市教育委員会 (非売品)

地方史研究家の目で見えた漁業史が平易に解説されている。定置網や古漁場の図が多く、新湊漁業者の気風なども紹介されていておもしろい。

「とやまの魚たち」 津田武美著 1991年 新湊市教育委員会 (非売品)

上記「原色日本海魚類図鑑」の著者による県民カレッジ教養講座の講演筆録。富山湾の魚類相が、体験とともに語られている。

「とやまの魚」 富山県水産試験場編 1991年 富山県水産試験場 (非売品)

水産試験場の創立50周年記念刊行物。富山県に産する海産・淡水産の魚介類と藻類184項目がカラー写真とともに解説されている。

「富水試だより通巻50号記念特別号」 富山県水産試験場編 1991年 富山県水産試験場 (非売品)

水産試験場の創立50周年記念刊行物。1972年に刊行が始まった「富水試だより」のセレクト編。50編の紹介記事や論文が収録されている。

「とやま再発見 - 不思議の海・富山湾 -」 稲垣俊吉著 1995年 富山県職員研修所

県職員カルチャブック59号に収録されたもの。富山湾の再発見の必要性、七不思議、三大珍味などが、60ページ余りの小冊子で読める。

「魚ごころ 人ごころ」 蓑島良二著 1994年 北日本新聞社 1,457円+税

新聞連載記事をもとにまとめられた本で、富山県に産する魚介類の方言や文化を知るのに便利。魚名漢字一覧や本文中のカットも目を惹く。

「ほたるいかのはなし」 稲村 修著 1994年 魚津市教育委員会・魚津水族館 (非売品)

ホタルイカの生態、漁業と利用、発光、研究史などが紹介されている。1965年発行の竹嶋光男著「ホタルイカ」以来、2冊目のホタルイカ本。

「富山の藻類」 藤田大介・濱田 仁・渡辺 信編 1994年 富山県水産試験場 (非売品)

富山市で日本藻類学会を開催した時に刊行された小冊子。富山県に産する海藻と淡水藻の研究史、生育状況、利用と分化などを紹介。

「わたしたちの富山湾」 富山県企画部日本海政策課編 1995年 富山県 (非売品)

ふしぎの海、人々の活動の舞台、世界にひらかれた交流の拠点の3章からなる子供向けの本。歴史や文学、施策構想も紹介されている。

「豊饒の海に生きる - 富山湾の漁 -」 (県民カレッジテレビ放送講座テキスト) 富山県民生涯学習カレッジ

1996年 (非売品)

定置網をはじめ、底曳網、八艘張網、イカ釣り、一本釣り、ふくらぎ漬け、えび・かに・はいのかごなど、漁具・漁法がわかりやすい。

「富山湾 - 神秘性とロマンの“宝庫” -」 藤井昭二編 1997年 新興出版社 5,000円+税

1974年に富山文庫第3巻として出版された本の現代版。総合的な情報源として活用できるが、海底地形や地質(編集者の専門)は特に重宝。

「氷見のさかな」 氷見市教育委員会編 1997年 氷見市教育委員会

1997年の成人の日配布された本。漁業の歴史、漁法、伝統的な加工・利用のほか、沿岸の魚介類がカラー写真とともに解説されている。

「富山湾産魚類リストおよび富山湾産希少魚類の採集記録」 魚津水族館編 1997年 魚津水族館 (非売品)

魚津水族博物館で確認されてきた350種の魚類について、捕獲データが収録されている。希少種64種類はカラー写真で紹介されている。

「とやまのお魚料理」 富山県おさかな普及協議会・富山県漁業協同組合連合会編1998年 楓工房 500円(税込)

富山県で水揚げされる主な魚介類20種の食べ方がカラー刷りで紹介されている。通勤族の主婦はもちろん、地元の人にも参考になる。

「富山湾魚類(おさかな)図鑑」 坂下 顕著 1998年～ アキ編集室「出版倶楽部」各500円(税込)(月刊)

ジャーナル感覚の図鑑。大写しの美しい写真と子供向きの読み物がよい。各部の名称が入ったスケッチ、近縁種との区別なども親切である。

「富山のサザエ」 藤田大介・鴨野裕紀著 1998年 富山県水産試験場 (非売品)

富山県におけるサザエの分布、生態、漁獲量、漁法、種苗生産、放流試験、資源管理、利用と文化などを読み物としてまとめたもの。